

令和4年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

優秀賞作品

思いやり みんなでもって いじめゼロ

青森県立八戸聾学校 中学部3年 松沢 宏人 ※受賞当時の学校と学年です

青森県選手団の活躍紹介!

特別国民体育大会が、令和5年10月7日から10月17日(会期前開催9月16日から9月24日)鹿児島県鹿児島市を中心に開催されました。本県からは33競技、514名の選手・監督等が参加し、14競技34種目において入賞しました。

「特別国民体育大会にかけた思い! 2026年あおもり国スポに向けて!!」と題し、選手たちの熱いメッセージを紹介します!

2年後の2026年は青森県で国スポ開催!



陸上競技 成年女子 ハンマー投 優勝

村上 来花 選手 所属:九州共立大学(強化指定選手)

今回の特別国体は私自身初めての国体となる試合でもあり、すごく楽しみにしていました。昨年は膝のコンディションが悪く棄権した分、今年はいつもお世話になっている青森県に貢献出来るよう、今シーズンは怪我に十分注意を払いながら練習を積んできました。2年後の2026年にはあおもり国スポが開催されますが、こちらにも是非出場出来るよう精一杯頑張りたいと思っています。

地元開催は地元の方々の温かさを感じながら楽しい試合になるよう、自分自身の競技力を向上させ準備を進めていきたいです。応援よろしくお願いたします。



レスリング競技 女子 フリースタイル62kg級 優勝

類家 直美 選手 所属:レスターホールディングス(強化指定選手)

毎日厳しい練習を積み、昨年よりも確実に強くなっているという自信があったため、最低でも優勝という目標を立てて大会に挑みました。苦しい場面もありましたが、練習を思い出して乗り切ることができました。目標を達成できてホッとしています。

あおもり国スポでも、優勝して地元の青森県に貢献できるよう精一杯頑張ります。

また、自分が活躍することで少しでも多くの方にレスリングに興味をもってもらえるように頑張ります。



左側 類家選手(優勝の瞬間!)

バドミントン競技 少年男子 団体 第2位

今田 竜大 選手 所属:青森山田高等学校(強化拠点校)

私にとって特別国体が高校最後の大会なので、青森県のためにも優勝したいという気持ちが強かったです。1回戦から厳しい試合が続きましたが、準優勝という結果でした。優勝を目標にしていたので悔しい気持ちもありますが、青森県のために最後まで全力で戦えたので悔いはありませんし、青森県に良い報告ができたと思います。2年後にあおもり国スポが行われるため、今大会をきっかけに、青森県のバドミントン競技を盛り上げることができたら嬉しいです。

田中 陽樹 選手 所属:浪岡高等学校(強化拠点校)

これまで出場した全国大会では決勝の舞台に一步届かない結果が続いたので、今回の特別国体では決勝の舞台に立つと意気込んで、試合に臨みました。県内で優勝を争ったライバルと今回はチームを組むことができ、仲間だと思えば心強く、精神的にも余裕を持って試合ができました。目標である決勝の舞台に立つことはできましたが、準優勝という結果だったので、あおもり国スポでは、さらに実をつけて青森県のために活躍したいです。

菅原 海斗 選手 所属:浪岡高等学校(強化拠点校)

特別国体では、青森県のために優勝を目標に挑みました。昨年は、1回戦負けで悔しい思いをしたので今年こそ優勝という思いがありました。その結果惜しくも優勝することはできませんでしたが、代表として準優勝という結果を残すことができたことを誇りに思います。あおもり国スポでは、準優勝という結果を超えられるように、また一から練習し、優勝できるように頑張ります。



左より、戸祭監督、今田選手、田中選手、菅原選手

空手道競技 成年男子 形 第4位 岡本 拳 選手 所属:青森県競技力向上対策本部

今回の特別国体では、この大会の開催にご尽力いただいた鹿児島県の皆様、日頃からサポート、支えて頂いている青森県競技力向上対策本部の皆様、関係者の方々に感謝の気持ちを忘れずに試合に臨みました。自分の中で昨年の12月に怪我の影響で靭帯の手術を行っており、それから半年間競技を離れ、リハビリに打ち込み、今年初めての全国大会だったので緊張もありましたが、自分を信じて、思いっきり競技を楽しむ気持ちを忘れず形を打つことができました。

久しぶりに入賞できた喜びと同時にやはり優勝できなかった悔しさを感じ、まだまだ成長できると実感しました。また、2026年青の煌めきあおもり国スポに向けて、人が感動する形を打てるよう、現状に満足せず日々の稽古に打ち込んでいきます。応援の程よろしくお願いたします。



選手の活動状況や各種大会成績等を各SNSで配信中!
フォロー・いいね・リポストをお願いします!



問合せ

競技力向上対策本部
(スポーツ健康課・競技力向上対策室) TEL.017-734-9924



青商ビジネスチャレンジ with 台湾事業 (R4~5年度実施) で世界に挑戦!



台湾の高校生との協働学習による商品開発をきっかけに、本県と台湾の両地域における販売実践活動を通じて、県内の商業高校(青森商業高校、弘前実業高校、八戸商業高校、三沢商業高校、黒石高校)と台湾の高校との連携強化を図るとともに、国内外でビジネスを展開するノウハウを高校段階から身に付け、世界に向かってチャレンジする人財を育成することを目指し2年間の活動に取り組んでいます。



※青森県では、「人は青森県にとっての「財(たから)」である」という基本的考えから、「人」「人材」などを「人財」と表しています。

どんな取組?

- 1 県立商業高校で学習する「商品開発と流通」や「マーケティング」をはじめとする専門科目を基礎として、台北市立松山高級商業家事職業学校の生徒と協力し、県産ホタテを使用したパスタソース「たんげめえ! (美味醤油)」の商品開発を行いました。
- 2 本県をビジネスの観点から国際的に発信ができるよう、市場調査や販売実践、本県のPR活動及び交流等に取り組んでいます。
- 3 これらの取組により、本県の魅力と異文化理解、生徒個々の主体性、チャレンジ精神及びコミュニケーション能力の向上を目指しています。

開発した
県産ホタテを使用した
パスタソース



令和4年度の取組内容

- **オンラインを活用した研修**
海外の顧客に対する効果的な商品PRの方法や、貿易実務等について学習しました。
- **東京研修会**
開発したパスタソースの台湾での販路拡大のため、東京にある台湾の企業等を訪問し商談を行いました。

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、台湾への渡航を中止としました。



企業との商談の様子

令和5年度の取組内容

- **台湾祭の開催(7月28日(金)~29日(土))**
青森駅前に関係校が集まり、台湾関連商品のPRや販売実践等の実務に取り組みました。
- **訪台による開発商品の商談等(12月14日(木)~18日(月))**
松山高級商業家事職業学校等を訪問し、協働学習に取り組み、市場調査や開発商品の商談等にも挑戦しました。
テストマーケティングの実施により、台湾の消費者とのコミュニケーションを通して、台北市場の状況や消費者のニーズ、ビジネス展開に必要なノウハウ等の理解を深めました。



台湾祭

テストマーケティングの様子

問 学校教育課 高等学校指導グループ TEL. 017-734-9883

あもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」

県教育委員会では、中学生・高校生の皆さんにより本に親しんでもらうために、仲間や友達などへのおすすめの本の紹介文を募集しました。今年度は、3,305点の応募があり、以下のとおり最優秀賞、優秀賞が決定しました。

中学生の部



八戸市立市川中学校3年 木村 結実
「風に恋う」(額賀 滯/著)



- 八戸市立江陽中学校1年 石村 心乃佳
「1リットルの涙 難病と闘い続ける少女亜也の日記」(木藤 亜也/著)
- 県立三本木高等学校附属中学校3年 村井 嵐
「水を縫う」(寺地 はるな/著)
- 八戸市立江陽中学校3年 大島 穂音
「木曜日にはココアを」(青山 美智子/著)
- 八戸市立江陽中学校2年 音喜多 亜子
「全力疾走するバカになれ~明るく、楽しく生きたい人に贈る75の言葉~」(勝俣 州和/著)
- 青森市立新城中学校3年 元木 晴陽
「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」(汐見 夏衛/著)

高校生の部



県立柏木農業高等学校3年 齊藤 龍太郎
「生きてさえいれば」(小坂 流加/著)



- 県立三沢高等学校3年 駒沢 伶奈
「勿忘草の咲く町で 安曇野診療記」(夏川 草介/著)
- 県立八戸商業高等学校2年 川畑 悠
「水を縫う」(寺地 はるな/著)
- 県立黒石高等学校3年 浅利 夕蘭
「コーヒーが冷めないうちに」(川口 俊和/著)
- 県立鱒ヶ沢高等学校3年 勝野 紫音
「やりたいことが見つからない君へ」(坪田 信貴/著)
- 県立青森西高等学校2年 佐藤 美早希
「君たちはどう生きるか」(吉野 源三郎/著)



受賞作品が
決定
しました!

いじめ防止標語コンクール

令和5年度いじめ防止標語コンクールには、11,573点の応募がありました。審査の結果、以下の作品が優秀作品に決定しました。今後、優秀作品をもとに動画を制作し、CM放送、SNSによるWeb広告への活用及びYouTubeで公開する予定ですので、ぜひご覧ください。



- けなすより いいとこみつけて みなえがお
(青森市立新城小学校1年 近村 欣真)
- 傷ついた 君の心に 気づきたい
(中泊町立中里中学校2年 成田 開)
- 教えてよ 君の苦しさ 半分んこ
(弘前市立相馬小学校6年 大畑 真樹)
- 「とめない」と そんな気持ちを 行動に
(十和田市立東中学校1年 三浦 莉子)
- けしゴムで けせない ことばも あるんだよ
(むつ市立奥内小学校1年 立花 奏楽)
- 誰かがじゃない 君がやらなきゃ 変わらない
(県立八戸中央高等学校1年 島守 陽菜)



- 人叩く リアルでネットで やっちゃ駄目
(つがる市立森田小学校6年 須藤 乃愛)
- 耳すませ 心にひびが 入る音
(弘前市立新和中学校3年 葛西 妃莉)
- 目に見えぬ 心の悲鳴に 耳をすませて
(県立五所川原農林高等学校2年 青山 桃子)
- 考えて 言葉の重さ 相手の思い
(県立八戸第一養護学校高等部1年 二川目 心寿)



過去に制作した
CMはこちらから
視聴可能です



問 生涯学習課 企画振興グループ TEL. 017-734-9888

令和5年度「全国学力・学習状況調査」・「学習状況調査」の結果をお知らせします

文部科学省「全国学力・学習状況調査」

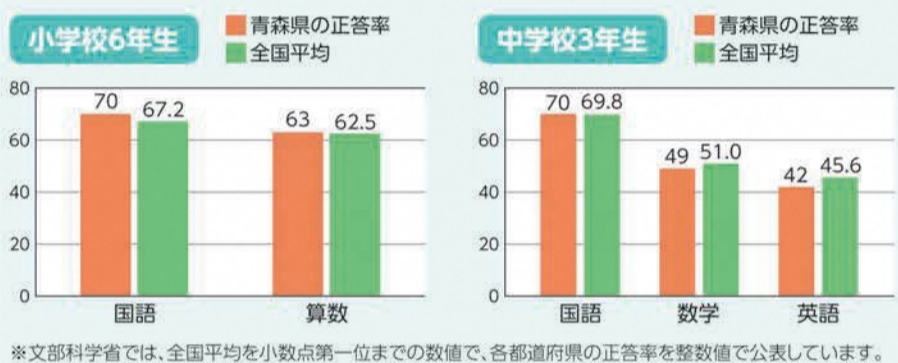
令和5年4月18日(火)実施

- 調査を実施した教科
小学校6年生:国語・算数
中学校3年生:国語・数学・英語
- ICT端末を活用し、英語の「話すこと」に関する調査をオンラインの音声録音方式で実施
- 学習意欲や学習方法等について児童生徒や学校に尋ねる質問紙調査を実施



今回の調査結果では、教科によって差はあるものの、全体を平均してみると、小学校6年生ではおよそ6割、中学校3年生ではおよそ5割を上回る正答率でした。

また、児童・生徒質問紙調査における、本県児童生徒の学習の状況では、各教科の学習に対する意欲を示す割合や、主体的・対話的で深い学びに取り組んでいると実感している割合が、全国平均と同程度でした。正答率が低かった教科においても、各学校において児童生徒が主体的に学習に取り組むよう指導改善が図られており、学習への意欲は向上していると考えられます。



県教育委員会「学習状況調査」

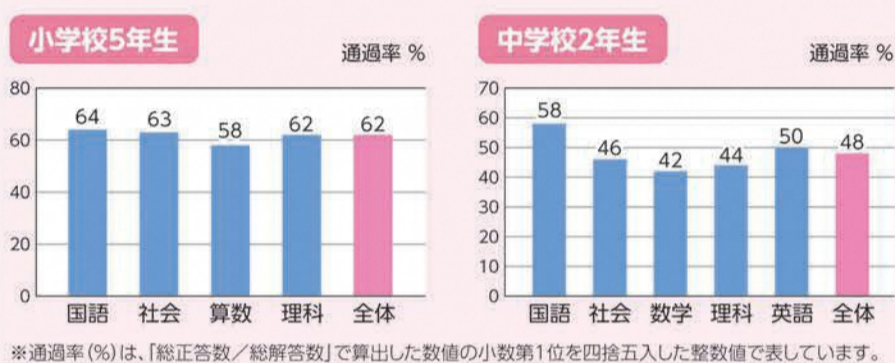
令和5年8月30日(水)実施

- 調査を実施した教科
小学校5年生:国語・社会・算数・理科
中学校2年生:国語・社会・数学・理科・英語
- 学習指導要領が示す「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を問う問題を出題
- 各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、情報を精査して考えを形成することを重視した問題を各教科において出題
- 質問紙調査(3年毎に実施)を、ICT端末によりオンラインで実施



今回の調査結果では、本県の小学校5年生、中学校2年生の学力の状況は、教科や内容によって成果や課題はあるものの、教科全体を平均してみると、小学校ではおよそ6割、中学校ではおよそ5割程度の通過率でした。

また、学習に対する意識や実態に関する調査では、「課題解決に自ら取り組み、対話を通じて自分の考えを深め広げている」と回答した割合が8割程度でした。この結果から、各校においてこどもの興味を引き出し、仲間と協力して解決する授業づくりが行われていると捉えています。



県教育委員会HPからダウンロードできます

全国学力・学習状況調査
本県の結果と今後の対策



学習状況調査
実施報告書



問 学校教育課 小中学校指導グループ
TEL. 017-734-9895

学ぼう! 体験しよう! わたしたちの地域の文化財

～小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業～

県教育委員会では令和3年度から、小学生が縄文遺跡をはじめとする地域の文化財について学習・体験活動を行う「小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業」を実施しています。本事業を通じて、子どもたちに地域の文化財の価値や魅力を知ってもらうとともに、将来的に文化財の保存・活用に携わる人材の育成につなげていきます。

地域の文化財に関する学習・体験活動(令和5年度の実施状況) 学習・体験したことを様々なかたちで発表します

つがる市立森田小学校

地元だけではなく、市外の文化財にも触れ、地元文化財の良さを紹介します。



つがる市縄文住居展示資料館



つがる市森田歴史民俗資料館

むつ市立大湊小学校

学芸員の説明を基に、自分たちで考えた言葉で、文化財を紹介します。



むつ市・旧大湊水源地水道施設



むつ市・旧大湊水源地水道施設

階上町立道仏小学校

地域の保存団体から道仏神楽を学び、町主催のイベントで発表します。



階上町・道仏神楽



階上町・道仏神楽

取組スケジュール

県内6小学校を2つのグループに分け、講座や学習・体験活動を実施します。

R3	<ul style="list-style-type: none"> ●学習・体験プログラム検討会議の開催 ★地域の文化財に関する講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・外ヶ浜町立三蔵小学校 ・弘前市立西小学校 ・七戸町立天間林小学校
R4	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の文化財に関する講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・つがる市立森田小学校 ・むつ市立大湊小学校 ・階上町立道仏小学校 ★地域の文化財に関する学習・体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・上記Aグループの小学校
R5	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の文化財に関する学習・体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・上記Bグループの小学校 ●学習・体験プログラム集の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・県内6小学校の活動内容をまとめます

本事業で実施した県内6つの小学校の取組事例等を掲載した「学習・体験プログラム集」を作成します。

問 文化財保護課 文化財グループ TEL. 017-734-9920

私たち、こんな活動しています! ~重点校・拠点校における連携した取組~

重点校

青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画では、第1期実施計画における重点校の学力向上の取組に加え、探究活動における連携に取り組むこととしています。



取組例 重点校が実施する探究活動に関する研究会への参加や、学習成果の共有に向けた生徒同士の交流等の連携など

重点校:青森高校

内容:青森高校の先生によるプラスチックごみのリサイクルの推進をテーマとした探究活動のワークショップ開催

実施日:令和5年11月10日

場所:木造高校



重点校である青森高校の探究学習部主任の先生を講師として、木造高校の1年生が、探究活動に取り組みました。具体的には、プラスチックごみのリサイクルを推進する高校生という設定で、リサイクルが進まない原因を分析し、食品の包装方法の改善によるリサイクルの推進策を考えたのち、その材料費・人件費等を含めたコスト計算等の検証を経て、生産者役と発表者に分かれて改善策についてプレゼンテーションを行いました。

この取組を通して、課題設定・仮説立案・考察・まとめ・発表という探究の流れを体験し、探究活動の理解を深めました。



(仮説のコストを協力しながら計算する様子)

課題に対して一つの解決方法を考えると、また違う課題が出てくるので大変だった。課題解決のためには、様々な視点から考えなければならぬことを学ぶことができた。これからの探究活動では、みんなと協力して課題を解決していきたい。



拠点校

青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画においても第1期実施計画に引き続き、拠点校と各校の連携による取組を実施します。



取組例 拠点校が実施する教育活動への参加や、各学科間の横断的な共同研究及び学習成果の共有に向けた生徒同士の交流等の連携など

拠点校:八戸工業高校

内容:文化祭における「ものづくり教室」による交流

実施日:令和5年10月21日

場所:十和田工業高校



拠点校である八戸工業高校の材料技術科の学びを、十和田工業高校の文化祭において紹介することにより、十和田工業高校の生徒は、自校にはない学習内容について知る機会が得られ、八戸工業高校の生徒は、学習内容を相手に伝えることでこれまでの学びについて理解を更に深め、コミュニケーション能力を養う機会となりました。



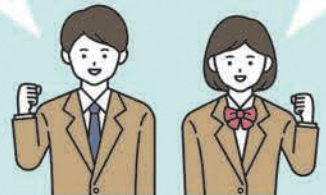
(材料技術科の学びを紹介する様子)

他校の特色ある学科の学習内容を知るのは楽しい。普段はそのような機会があまりないので、このような交流は良い取組だと思う。

自分たちの学科の学びを高校生だけではなく、地域の方や子どもたちにも知ってもらい「ものづくり」に興味を持ってもらえる機会となって良かった。



当日の様子を動画でご覧いただけます!



お知らせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。
(県教育庁教育政策課 情報広報グループ広報担当 TEL 017-734-9868)

図書館・近代文学館からのお知らせ

◆おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子どもたちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。

●日 時/令和6年3月9日(土) 14:00~14:30

●場 所/青森県立図書館
児童閲覧室
おはなしコーナー

問 青森県立図書館 TEL.017-739-4211
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>



◆企画展「あおもり文学食堂」開催中!

いつの時代も暮らしの中に存在する「食」をテーマに、青森に関係する文学作品や作家などを紹介します!

作家が好きだった食べ物や、よく通っていたお店、作家や作品をモチーフにした食品など、様々な資料を展示しますので、ぜひ見に来てくださいね!

※詳細はホームページでご確認ください。

●期 日/開催中~3月10日(日)

●場 所/青森県近代文学館
【青森県立図書館2階】

問 青森県近代文学館
TEL.017-739-2575
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/bungakukan/>



青森県立郷土館土曜セミナー「絵と写真で見る昔の青森」

郷土館職員が、郷土の歴史や文化、自然などをテーマにして楽しくわかりやすくお話しする講座です。どなたでも受講できます。なお、当セミナーは「あおもり県民カレッジ」の単位取得講座(1回2単位)です。

●日 時/令和6年3月2日(土) 13:30~15:00

●場 所/青森県総合社会教育センター4階 第2多目的研修室

●講 師/青森県立郷土館 主任学芸主査 滝本 敦

●対 象/一般(40人先着順)

●参加費/無料

●お申込み/当日13:00から

問 青森県立郷土館 TEL.017-777-1585
<https://www.kyodokan.com>



令和5年度企画展「さんまる北側・新発見」開催中!

三内丸山遺跡北側の発掘調査において、近年の調査成果から三内丸山で暮らした縄文人の土地利用について紹介しています。

出土品とともに普段の展示では見ることのできない発掘作業の様子や遺物出土状況の写真も展示していますので、ぜひご来場ください。

●会 期/開催中~3月10日(日)

●会 場/三内丸山遺跡センター 企画展示室

●観 覧 料/一般410円、高校生・大学生等200円、
中学生以下無料

※詳細はホームページでご確認ください。

問 三内丸山遺跡センター
TEL.017-782-9462

<https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>



青森県学生寮入寮生募集

~東京で経済的な負担が少なく修学できます~

●入寮資格/保護者が青森県民で、東京都又はその近郊の大学、専修学校等に在学しているか、令和6年4月に入学見込みの男子学生

●場 所/東京都小平市鈴木町1丁目103の1

●部 屋/個室で、ベッド、机、エアコン等が備え付けてあります。

●経 費/入寮費年額3万円、寮費月額3万円、食費1食450円(平日の夕食のみ)、電気料金実費(上・下水道料金無料)、インターネット月額約1,700円

●募集人員/約50人(近年は居室に余裕があります。)

●募集期間/令和5年12月1日~令和6年3月29日まで

●申込方法/県内の各高校又は各教育事務所にある願書等に必要事項を記入の上、添付書類とともに青森県育英奨学会へ提出してください。(大学等の合格前に出願できます。)

願書等の様式は県庁HP からダウンロードすることができます。

※詳細はホームページでご確認ください。

問 青森県育英奨学会(教職員課内) TEL.017-734-9820

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-kyoin/syogakukin-boshuu.html>

